

位置	記事の内容	問題点																
記事タイトル	【独自調査】新体育館など愛知県の入札事業への重大疑惑と「政策顧問」存在の闇	・ 事実に基づかない扇動的かつ一方的な表現である。																
2つ目のパラグラフ見出し	「絶対条件」ではなかった大階段計画	・ 2階エントランスや外に階段を設けることを「絶対条件」とした事実はない。県が「絶対条件」と言ったかのような誤った印象を与える記述であり、不適切である。																
2つ目のパラグラフ「絶対条件」ではなかった大階段計画」5段落目	採用案の大階段や2階へのアプローチが絶対ではなかったことが分かる。																	
2つ目のパラグラフ「絶対条件」ではなかった大階段計画」9段落目	運営権対価込みの金額が分かったので比較すると、(中略)その価格差は約80億円だった。	<p>・ 事業者の選定は、外部有識者5名による愛知県新体育館整備・運営等事業PFI事業者選定委員会で行ったものであり、施設整備や運営企画など性能等に関する評価を170点、入札価格の評価を30点、合計200点で総合的に評価することを、事前に公表して手続を進めた。</p> <p>・ この評価方法では、</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">性能等に関する評価</th> <th style="text-align: left;">建設費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>170点 ⇒ Aグループ 107.88点</td> <td>約316億円 (※Yahoo!記事に記載された金額)</td> </tr> <tr> <td>Bグループ 86.15点</td> <td>非公表</td> </tr> <tr> <td>Cグループ 132.16点</td> <td>約396億円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">入札価格の評価</td> </tr> <tr> <td>30点 ⇒ Aグループ 26.04点</td> <td>187億円 (税抜 170億円)</td> </tr> <tr> <td>Bグループ 30.00点</td> <td>約162億円 (税抜約148億円)</td> </tr> <tr> <td>Cグループ 24.35点</td> <td>約199億円 (税抜約182億円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>となった。</p> <p>以上のとおり、今回の事業は、県のサービス購入料の上限200億円の範囲内で民間事業者負担を含めて総合評価を上げることが評価されるものである。(なお、建設費と入札価格の差額を民間事業者側が負担するものであるが、その負担額は、Aグループ約129億円(※Yahoo!記事に記載された金額から算出)、Cグループ約197億円となっている。)</p> <p>以上を総合的に評価して優先交渉権者を定めるもので、建設費だけで決めるものではなく、その部分は全体の15%であることは、愛知県新体育館整備・運営等事業PFI事業者選定委員会で審議し、事業者募集の当初から示しているところである。</p> <p>それらを全く無視して建設費だけをことさらに取り上げて、むしろ、民間事業者負担を一切無視して、「通常は入札価格が高い方が評点(入札価格点)は低くなるため、採用案(C)はその時点で最も低い点数だった」と言うのは、客観的な事実、経緯を無視して、これをゆがめるものであり、まさに事実関係に反するものと言わざるを得ない。まさにナンセンスそのものであり、極めて遺憾である。厳重に抗議する。</p>	性能等に関する評価	建設費	170点 ⇒ Aグループ 107.88点	約316億円 (※Yahoo!記事に記載された金額)	Bグループ 86.15点	非公表	Cグループ 132.16点	約396億円	入札価格の評価		30点 ⇒ Aグループ 26.04点	187億円 (税抜 170億円)	Bグループ 30.00点	約162億円 (税抜約148億円)	Cグループ 24.35点	約199億円 (税抜約182億円)
性能等に関する評価	建設費																	
170点 ⇒ Aグループ 107.88点	約316億円 (※Yahoo!記事に記載された金額)																	
Bグループ 86.15点	非公表																	
Cグループ 132.16点	約396億円																	
入札価格の評価																		
30点 ⇒ Aグループ 26.04点	187億円 (税抜 170億円)																	
Bグループ 30.00点	約162億円 (税抜約148億円)																	
Cグループ 24.35点	約199億円 (税抜約182億円)																	
2つ目のパラグラフ「絶対条件」ではなかった大階段計画」11段落目	採用案はよほど価格面以外の内容で良いものでなければならない。しかし、実際にはバリアフリーや建物の高さ、VIPを優遇し動員し続ける計画性や超高級ホテルの実現性で問題が指摘できるものだった。	<p>・ 総合評価落札方式は、「価格」と「価格以外の要素」を総合的に判断する方式である。今回の提案の審査では、「ICT技術を積極的に活用し、一体感や臨場感の最大化を図るとともに、グローバルサービスを展開する新たなアリーナであること」、また、「アマチュアスポーツ選手や演者の憧れとなり、認知度やブランドを大きく向上させる提案であること」などが特に高く評価された。「価格」や、記者が「問題が指摘される」とした点のみを強調する論調は、不適切である。</p> <p>・ 「VIPを優遇し」や「超」高級ホテルは、提案内容になく、事実と異なる。また、建物の高さ、事業の計画性、ホテルの実現性について「問題」とした事実もなく、不適切である。</p>																
3つ目のパラグラフ見出し	知事と同級生の政策顧問が事業「主導」	・ 愛知県新体育館整備・運営等事業始め愛知県のコンセッション事業については、県が責任を持って事業計画を立て、予算を確保し、県議会の議決の下、適正な手続を経て実施しており、政策顧問が主導したという事実はない。																

位置	記事の内容	問題点
6つ目のパラグラフ 「委員長は「問題ない」と答えるもU氏の取引は知らず」 6段落目	U氏関係の委員が多くを占めることで、幅広い分野の専門家が入れず、バリアフリーなどの多様な視点が抜け落ちてしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋大学の谷口名誉教授のコメントとされている記述であるが、選定委員会の委員について、政策顧問の関係者として選任した事実はない。また、幅広い分野の専門家に依頼し、バリアフリーを含め多様な視点から審査しており、事実と異なり不適切である。</li> </ul>
7つ目のパラグラフ 「法的には「善管注意義務違反」の指摘も」 2段落目	政策顧問が前田建設工業の利益を図る行為は、愛知県との間で利害相反するため、善管注意義務に違反することになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県新体育館整備・運営等事業始め愛知県のコンセッション事業については、県が責任を持って事業計画を立て、予算を確保し、すべて公正な入札等の手続きを経て事業者を決定しており、政策顧問が前田建設工業の利益を図るという記述は、全く事実ではない。</li> </ul>
7つ目のパラグラフ 「法的には「善管注意義務違反」の指摘も」 3段落目	総合評価方式の入札は、そもそも評価がブラックボックスになる。なぜこうした価格の高い案を選ぶ必要性があったのか、知事のお友達で固めたような体制でいいのか、もっと説明や情報公開がいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>引用の体裁をとっているが、事実関係を歪曲し、極めて不公正な表現である。</li> <li>先述したとおり、選定した事業者の提案は、「性能等に関する評価」で高い評価を受け、入札価格も含め、総合評価で最も優れていると客観的に評価されたものであり、「なぜこうした価格の高い案を選ぶ必要性があったのか」とのコメントは、全く不正確で事実ではない。</li> <li>今回選定した事業者の提案は、「ICT技術を積極的に活用し、一体感や臨場感の最大化を図るとともに、グローバルサービスを展開する新たなアリーナであること」、また、「アマチュアスポーツ選手や演者の憧れとなり、認知度やブランドを大きく向上させる提案であること」などを高く評価し、審査結果として公表している。</li> <li>「知事のお友達で固めたような体制」という記述については、そのような事実はない。</li> </ul>